

単位互換科目提供科目一覧(平成28年度 後期)

大学コンソーシアム富山授業科目(集中講義)

シラバス No.	(教養) [専門]	授業科目	担当教員	単位	配当年次	曜日	時限	受入数	学部学科	備考
⑧-1	(教養)	災害救援ボランティア論	奥寺 敬	2	1	平成29年 2/20(月) ~/23(木)		20	教養教育	履修願提出期間:平成29年1/18(水)まで 1日3又は4コマ×4日間(15コマ)の集中講義

授業科目名(英文名) / Course title		災害救援ボランティア論			
担当教員(所属) / Instructor		奥寺 敬(医学部医学科), 若杉 雅浩(医学部医学科)			
授業科目区分 / Category		教養教育科目 教養科目			
COC + 科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用		地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目	
開講学期曜限 / Period		2016年度 / Academic Year 後期 他	対象所属 / Eligible Faculty		
時間割コード / Registration Code		106604	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3年 ,4年	単位数 / Credits 2単位
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact		奥寺 敬(okudera@med.u-toyama.ac.jp)			
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice		更新日			
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標) / Course Objectives		教育目標 / Educational Goals			
<p>災害救援ボランティア推進委員会は阪神・淡路大震災の教訓を基に、大災害を想定した災害救援ボランティアリーダーの育成・登録活動に当たる民間団体として設立されました。</p> <p>「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、周りの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度に食い止める活動を行います。本カリキュラムでは、この災害救援ボランティアを包括し、富山大学と地域の共同研究の成果を加えた本学独自の科目です。</p> <p>1995年7月17日にライフラインの関係者の那須翔(東京電力会長・当時)、渡辺宏(東京ガス会長・当時)、河野俊二(東京海上火災保険社長・当時)、児島仁(日本電信電話社長・当時)、報道関係者の吉村秀實(日本放送協会解説主幹・当時)、行政経験者の長岡實(日本たばこ産業顧問・当時)教育関係者の澤野裕治(日本法学会理事・当時)らが中心となって会をボランティアの民間任意団体として結成し、委員長に石原信雄(元内閣官房副長官)を選出し事務局を公益財団法人日本法学会内に置きました。会の目的に『大地震等の大規模災害に備えて、災害救援を希望する人たちのための講座を行い、災害救援ボランティアを日常的に教育訓練し、地域防災に貢献していくこと』を掲げ、以後、災害救援ボランティア育成及び地域防災の推進、防災の普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>「災害救援ボランティア論」では、この災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供します。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<p>総務省消防庁が示した基準に基づき、災害救援ボランティア推進委員会が推進する認定資格「セーフティリーダー(SL)」及び総務省消防庁の救命講習である、普通救命講習(AED含む)を取得すること。</p>					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					
<p>2月20日から23日までの4日間で実施します。</p> <p>講義, 実習, 演習, 学外施設見学</p> <p>第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学(講義)</p> <p>第2回 災害ボランティア活動の基本(講義)</p> <p>第3回 地形と災害の予測(講義)</p> <p>第4回 防災机上訓練: ハザードマップの活用(実習)</p> <p>第5回 被災地での安全衛生とコミュニケーション(講義)</p> <p>第6回 災害時のリーダーシップとチームビルディング(講義)</p> <p>第7回 トレーニング 倒れている人をどう救うか(実習)</p> <p>第8回 富山県の防災対策(講義)</p> <p>第9回 都市における減災対策(災害のしくみ) (講義)</p> <p>第10回 都市における減災対策(放射能汚染と望まない復興) (講義)</p> <p>第11回 普通救命(心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法)(実習)</p> <p>第12回 普通救命(心肺蘇生) (講義)</p> <p>第13回 災害時の医療救援活動 (講義)</p> <p>第14回 災害体験(地震体験、消火体験)(実習)</p> <p>第15回 災害体験(煙体験、暴風雨体験)(実習)</p>					
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class					
<p>事前学修 シラバスの授業計画の項目について、事前に関連文献やインターネット等を利用して自己学修を行う。</p> <p>事後学修 その日の重要なポイントがどこかを、教材・自分のノートで再確認を行い、知識・技能の定着を図る。</p>					
キーワード / Keywords		災害救援, ボランティア, 救命活動, 地域防災, 自主防災			
履修上の注意 / Notices		実習にふさわしい服装で受講すること			
教科書・参考書等 / Textbooks		(予定) 災害・健康危機管理ハンドブック 診断と治療社 ISBN 9784787815316			
成績評価の方法 / Evaluation		講義・実習の参加態度及びレポートによる総合評価			
関連科目 / Related course					
リンク先URL / URL of syllabus or other information					
備考 / Notes					